

《 ガソリン/軽油/灯油の取扱い 》

【 容器について 】

- ・消防法令により、一定の強度を有するとともに、材質により容量が制限されています。
- ・灯油用ポリ容器にガソリンを入れることは厳禁です。

灯油用ポリ容器



ガソリン・軽油は給油不可!!

消防法令に適合した
容器を使用すること!!

ガソリン携行缶



ガソリン以外も給油可

※ガソリン以外の給油

容器に「軽油・灯油・混合油」の表示をすること!!

【 購入するとき 】

- ・ガソリンを携行缶で購入する場合には「①本人確認」と「②使用目的の確認」が義務付けられています。
- ・買いだめは極力控えてください。（ガソリンは特に!）
- ・消防法令の基準に適合した容器で購入してください。
 - ※ セルフスタンドでは、従業員が適合した容器にのみ給油します。
 - また、利用客が自ら容器に給油することはできません。
- ・給油中は、必ず車のエンジンを停止してください。
 - ※ ガソリンは軽油や灯油に比べ、揮発性がとても高く危険です。
 - −40℃という気温でも小さな火種があると引火します。静電気除去シートを触るのはこのためです。
 - また、タバコを吸いながらの給油は言語道断です。

セルフはダメ



従業員による給油はOK

【 保管するとき 】

消防法令で数量が決まられています。（ガソリン：200ℓまで、灯油・軽油：1,000ℓまで）

ただし、指定の数量を超える場合は手続きが必要です。

- ・ガソリン 40ℓ以上200ℓ未満 （灯油・軽油は、200ℓ以上1,000ℓ未満）
火災予防条例により、消防署へ届け出が必要です。
- ・ガソリン 200ℓ以上 （灯油・軽油は、1,000ℓ以上）
消防法令により、市町村長等の許可が必要です。